

② 教育条件

「令和6年度県教育予算」に関わる陳情報告

日 時：令和5年8月23日（水）

9：27～10：10

場 所：県庁西庁舎 教育委員会室

参加者：県教育委員会 13名

県小中学校長会 12名

- 1（9:27）開会（司会；水谷義務教育課長、進行；兼子主任庶務理事）
- 2（9:28）県小中学校長会 都築会長挨拶
 - これまでの愛知県小中学校長会の活動に対するご理解とご支援、さらに教育予算にかかわる陳情の機会設置に対する感謝とお礼。
 - 令和元年度末から4年に及ぶ新型コロナウイルス感染拡大の影響下ながら、令和5年度の教育予算について、教育諸条件の整備や教職員の処遇改善にご配慮いただいたことへの感謝。
 - 本年度、愛知県小中学校長会では、キャッチフレーズを「時代を見据え、高みを目指し、共に歩む」と定めた。来るべき時代を見据えた上で、より質の高い教育を提供できるように、教育の本質を見極め、関係機関との連携を取りながら共に歩んでいきたいという願いを込めたものである。子どもたちの夢の実現を目指し日々努力しているところではあるが、教育課題は未だ山積している。
 - 愛知の教育の質の高さを保障し、愛知の子どもたちが豊かで健やかに成長していくための要望をさせていただく。県の財政状況が非常に厳しい状況であることは重々承知しているが、我々の切なる思いをご理解いただきたい。
- 3（9:31）県小中学校長会・県へき地教育研究会出席者の自己紹介（書面にて）
- 4（9:32）陳情書の手渡し
 - ・愛知県小中学校長会 都築会長から飯田教育長へ
 - ・愛知県へき地教育研究協議会 平井会長から飯田教育長へ
- 5（9:33）陳情内容の説明
 - ・県小中学校長会 高木教育条件委員長
 - ・県へき地教育研究協議会 平井会長
- 6（9:46）質疑
- 7（9:47）県教育委員会 飯田教育長ご挨拶及びご指導（裏面）
- 8（10:10）閉会

飯田教育長 ご挨拶及びご指導（要旨）

- 1 県小中学校長会並びに県へき地教育研究協議会の皆様方には、日頃より、本県の義務教育の振興に格別の御尽力をいただいていることに、厚くお礼申し上げます。
- 2 併せて、学校現場をしっかりと支えていただけており、改めてお礼を申し上げます。引き続き、子どもたちの健康を最優先に考えていただき、学びの保障への取組をお願いしたい。
- 3 先ほどは、令和6年度の教育予算に関して、今年度の状況を踏まえて丁寧な説明をいただいた。本県の財政については、引き続き厳しい状況であるが、現行の教育水準を維持しつつ、時代の要請に沿った優先度の高いものから、効果的・効率的な施策を講じていきたい。
- 4 国は、教員が子どもたちと向き合う時間の確保や学習支援が真に必要な子どもたちへの支援などのため、小学校について2025年度までに35人学級へ移行することとしている。今後は、中学校における35人学級編制の法制度化による少人数学級の推進や、教科担任制の実施や個別の教育課題に対応するため、教職員配置のさらなる充実を図ること、教員の多忙化解消に向け、外部人材の積極的な活用を行っていくことについて、国に対して地方の声をしっかりと届けていきたい。
- 5 「『休み方改革』プロジェクト」の改革の中の「県民の日学校ホリデー」については、今年度、47市町村が11月24日、5市が11月27日、2市が各学校の定めた日に実施していただくことになった。忙しい時期ではあるが、先生方もできるだけ休みをとってもらえるよう配慮をお願いしたい。「ラーケーションの日」の導入については、53市町村の教育委員会、校長会の皆様に理解いただき、何らかの形で取り組んでいただけたことになった。円滑な導入に協力をお願いしたい。また、校務支援員を配置するモデル事業については、次年度も継続し、人的配置拡充ができるよう努めていくため、引き続き協力をお願いしたい。
- 6 夏休みも残すところ1週間となり、子どもたちの中には学校が始まることを不安に感じている子もいるかもしれない。教職員一人一人がアンテナを高くして、児童生徒に目配りをし、積極的な情報共有を図ってほしい。気になる様子を把握した場合には、保護者との連絡を密にし、問題の早期解決に向けた取組をお願いしたい。また、子どもたちには、悩み事などがある場合や周りの友達の危機を感じた場合は、一人で抱え込まずに、身近な友達や大人に相談したり、今年度から開始したSNSによる相談「子どもSOSほっとライン24」を活用したりするよう、改めて周知してほしい。
- 7 本県における日本語教育の必要な外国人児童生徒数等の人数は全国最多となっている。コロナ禍後、本県在住の外国人児童生徒数の増加が予想される。現在、語学相談員の派遣や日本語教育適応学級担当教員の配置、日本語初期指導教室やプレスクールへの支援等を行っているが、今後も国の動きを注視しつつ、効果的な施策を検討していきたい。本県独自の取組だが、外国籍の子どもへの対応として、豊田地区において、小学校から高校まで連携し、学習言語の定着を図る「愛知モデル」の構築を進めており、成果を全県に広めていきたいと考えている。
- 8 本年度、4月18日に「全国学力・学習状況調査」の「国語」「算数・数学」「英語」の調査を実施した。各校の協力にお礼を申し上げます。県としては、分析結果から得られた課題に対する具体的な授業改善等の解決策を示した「学力・学習状況充実プラン」を配付するので、活用してもらいたい。
- 9 本県の義務教育に対する保護者や県民の期待と信頼に応えるため、今後とも県小中学校長会と連携を図りながら教育水準の維持・向上に努めていきたい。
- 10 最後に、校長先生方におかれては健康にご留意いただき、今後とも、愛知県の学校教育の充実・発展に指導的役割を果たしていただけるようお願い申し上げます。